

課 題	主 意 見	関 係 する 機 関	回 答 等
議事－(1) 前回合同会議の 検討経過概要等 について	(1) 概要報告 (2) 前回の意見等 に対する回答 ※特に意見等はなかった。	WG事務局	※修正点などは事務局に連絡し、反映させる。
議事－(2) 第二種特定鳥獣 管理計画について	① 9,000頭/km ² まで減らしていくうえで、今後も毎年シミュレーションを行いながら検証する。 ② 屋久島島内でどのくらいまで減らすのかということに関しては、さらなる議論が必要である。	鹿児島県	①② 生息状況、捕獲状況、被害の発生状況等のモニタリング調査結果を基に検討して参りたい。
議事－(3) ヤクシカの現状に ついて	(1) 植生調査結果 について	環境省 林野庁	① 今後は、柵内外の違いや経年変化を定点写真で把握することも検討して参りたい。
	(2) 生息状況・捕 獲状況について	環境省	① 極力調査期間を短く出来るよう、努力して参りたい。
	(3) 屋久島町にお ける鳥獣被害の 実態と対応	※特に意見等はなかった。	
	(4) 国有林の林道 別のヤクシカの捕 獲数と捕獲効率 の推移	① 有害駆除の数が顕著に減り、里部では密度が減ってきている。しかし、宮之浦林道では捕獲効率がむしろ持ち直している。 林野庁	① 宮之浦林道で捕獲効率が少し上がった理由として、今年の本線と併せ、より標高の高い宮之浦林道の支線での捕獲も始めたことが影響している可能性がある。今後も林道毎の捕獲を進めつつ捕獲効率の分析を行なって参りたい。
議事－(4) 平成28年度の取 組について	(1) シャープ シューティングの 検討	環境省	① 現在は道路での移動式SSという手法についての検討を行っているところですが、今後、手法検討と並行して、達成目標の設定や捕獲手法の組み合わせ等計画捕獲の実施計画の検討を行って参りたい。 ② ご指摘を踏まえ、体制構築を図って参りたい。
	(2) 西部での捕獲 手法の検討	環境省	① 西部での捕獲に向けていろいろな検証が必要だが、囲い罠の誘引試験の結果は、しのび罠や誘引狙撃などにデータが引用できる可能性があるためこまかくとっておきたい。
	(3) 屋久島町にお ける鳥獣被害防 止対策について	※特に意見等はなかった。	
	(4) 国有林にお けるヤクシカ対 策について	① ヤクシカ嗜好植物増殖試験の目的の整理が必要。 林野庁	① 林道沿いの誘引捕獲を進めるに当たり、誘引用の生エサの確保が困難になってきたことから、誘引効果の高い植物を効果的、効率的に育成し使用することを目的としている。今の所、下刈りや除伐等の整備により、多くの嗜好植物の育成が見られつつあるので、今後も検証を進めて参りたい。なお、試験地は、柵内であり、周囲はシカが寄りつかないカヤ類で覆われているため、シカの侵入は不可能である。
議事－(5)	(1) ヤクシカ捕獲 について	環境省 鹿児島県 屋久島町 林野庁	①② 西部地域で密度操作実験を進めるに当たっては、ヤクシカWGのご助言を頂きながら、西部地域の生態系管理および管理目標も含めて進めて参りたい。
	(2) 生態系管理目 標(素案)について	林野庁	① 生態系管理の目標として、まずは指標種となる希少種や下層植生、萌芽更新、土砂流出などの回復を短期目標として設定しているが、それらの達成具合を見ながら、将来的には地域の目標とすべき生態系について、顕著な普遍的価値との関係性から、どういった生態系を目指すのかについて長期的目標としての検討を進めて参りたい。
議事－(6) その他	① テレメトリのデータは蓄積してほしい。また、会議で出てきた問題点を含めてGPSの捕獲データをとっていくことが重要。 ② 選択的な捕獲など、あえて意識的に警戒心を上げないような捕獲法など今までの方法とは違った捕獲手法を考えることが重要。 林野庁	林野庁	① 現在、テレメトリのデータ等もデータベースとして報告書の資料編として整理している。今後のGPSデータの調査については、高標高域のシカの行動の把握も含め検討して参りたい。 ② 林道沿いのくくりわなによる誘引捕獲については、成体を多く捕獲できるように、また警戒心を上げないようなわなの設置手法を検討するなど、行って参りたい。